

5 資料（調査票）

大仙市の将来のために
令和6年度市民による市政評価
ご協力のお願い

市民の皆さまには、日ごろから市政に対してご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

市では、『人が活き 人が集う 夢のある田園交流都市』を将来都市像に掲げ、平成28年度から10年間のまちづくりの基本的指針となる「第2次大仙市総合計画基本構想」のもと、より市民目線に立った実効性のある取組を推進しています。

この「市政評価」は、市民の皆さまが日ごろ感じていることや、市政に対する意見をお伺いするもので、いただいたご回答は、施策の見直しや市民の皆さまとの協働のまちづくりを進めるための基礎資料として活用させていただきます。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただきまして、アンケートにお答えいただきますようお願いいたします。

令和 6年 5月
大仙市長 老 松 博 行

《回答にあたって》

- ◆ このアンケートは、市内にお住まいになっている16歳以上の方の中から無作為(性別、年齢、地域については考慮)に1,000人を抽出させていただき、無記名形式で行います。
- ◆ このアンケートは、原則として封筒の宛名にあるご本人がお答えください。やむを得ず、ご本人がお答えできない場合は、ご家族の方(ただし、16歳以上の方)がお答えいただいても結構です。また、設問が難しいと感じられた場合は、ご家族の方と相談しながらお答えいただいても結構です。
- ◆ ご回答いただいた内容等につきましては、すべて統計的に処理し、個人に関する情報が明らかになることはありません。 ※宛名ラベル右下の4桁の番号は回答状況を確認するためのものです。
- ◆ このアンケートの結果は、後日(秋頃を予定)市のホームページや広報にて公表します。

《回答方法について》

- ◆ 次のどちらかの方法により、5月30日(木)までに、ご回答いただきますようお願いいたします。

1. 調査票による回答

同封している調査票に直接ご記入いただき、返信用封筒に入れてご投函ください。(切手は不要です。)

2. インターネットによる回答

次のURLを直接入力いただくか、二次元バーコードを読み込んでいただき、アンケートフォームからご回答ください。 ※回答方法の詳細は別紙「インターネット回答方法」をご覧ください。

(1) URL

https://apply.e-tumo.jp/city-daisen-akita-u/offer/offerList_detail?tempSeq=7316

(2) 二次元バーコード



【このアンケートに関するお問い合わせ先】

大仙市 企画部 総合政策課 政策調整班

電話:0187-63-1111(内線233) FAX:0187-63-1119

メール:sougou@city.daisen.lg.jp

■あなたご自身のことについてお伺いします。

・あなたの性別を、次の中から1つ選び、番号に○をつけてください。

1. 男性

2. 女性

3. 無回答

・あなたの年齢を、次の中から1つ選び、番号に○をつけてください。

1. 16～19歳

2. 20～29歳

3. 30～39歳

4. 40～49歳

5. 50～59歳

6. 60～64歳

7. 65～69歳

8. 70～74歳

9. 75～79歳

10. 80歳以上

・あなたの現在の就業状況を、次の中から1つ選び、番号に○をつけてください。

1. 正規社員・職員

2. 自営業・家族従業者(農林業含む)

3. パート・アルバイト

4. 派遣・契約社員

5. 専業主婦・主夫

6. 学生(高校生含む)

7. 無職

8. その他()

・あなたの居住地域を、次の中から1つ選び、番号に○をつけてください。

1. 大曲地域

2. 神岡地域

3. 西仙北地域

4. 中仙地域

5. 協和地域

6. 南外地域

7. 仙北地域

8. 太田地域

・あなたの家族構成を、次の中から1つ選び、番号に○をつけてください。

1. 単身世帯

2. 夫婦世帯

3. 二世帯世帯

4. 三世帯世帯

5. その他()

■自由意見

今回のアンケートの内容に関わらず、市政に関してご意見やご提案などがありましたら、ご記入ください。

.....

ご記入いただいたこの調査票は、同封の返信用封筒に入れ、5月30日(木)までに、切手を貼らずに、ご投函くださいますようお願いいたします。

I 施策の満足度と重要度について

あなたは、下表の設問項目について、大仙市の取組にどのくらい「満足」していますか。また、今後、大仙市のまちづくりにとってどのくらい「重要」であるとお考えですか。

下表の設問項目ごとに、「満足度」と「重要度」について、あなたの考えに一番近い番号を選んで、○をつけてください。(○はそれぞれ1つ)

満足度と重要度 設問項目		満足度					重要度				
		5 満足	4 まあ満足	3 どちらでもない	2 やや不満	1 不満	5 重要	4 やや重要	3 どちらでもない	2 あまり重要ではない	1 重要ではない
I 魅力ある産業振興・雇用のまちを創ります！	① 【農林水産業】 売れる米づくりの推進や複合農業化、6次産業化、通年農業化、担い手の育成、生産基盤の整備などに取り組んでいます。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	② 【商工業】 企業誘致の推進や地元企業の規模拡大、企業の人材獲得に対する支援、商店街の取組や創業への支援などに取り組んでいます。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	③ 【花火産業構想】 「大曲の花火」ブランドを戦略的に活用し、観光、商工業、農業など、幅広い分野にわたる活性化策を展開しています。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	④ 【観光】 各地の花火大会や祭り、史跡・文化財、温泉、自然等の地域資源を活かした観光振興に取り組んでいます。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	⑤ 【雇用・就労】 雇用・就業支援や資格取得支援、職場見学事業、Aターン希望者への就業支援などに取り組んでいます。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

大仙市の現状・取組状況

【令和6年4月1日現在】

新規就農者数	H26 157人 → R4 353人
農業産出額	H26 183億8千万円 → R4 192億2千万円
製造品出荷額等※1	H26 646億9千万円 → R3 959億6千万円
新規雇用創出数※2	H27～R4の累計 805人
新規誘致企業数	H27～R5の累計 13社
創業者数	H27～R4の累計 120人
市内の煙火出荷額	H26 7億6百万円 → R4 8億3千4百万円
観光入込客数※3	H26 263万1千人 → R4 210万6千人
Aターン就職者数※4	H27～R4の累計 578人

※1 製造品出荷額、加工賃収入額、その他収入額及びくず・廃物の出荷額の合計

※2 雇用助成金交付人数と地域雇用活性化推進事業により新規雇用された人の合計

※3 コロナ禍の影響による減少

※4 Aターン／秋田県へのUターン・Iターン・Jターンの総称

満足度と重要度 設問項目		満足度					重要度				
		5 満足	4 まあ満足	3 どちらとも	2 やや不満	1 不満	5 重要	4 やや重要	3 どちらとも	2 あまり重要ではない	1 重要ではない
Ⅱ みんなの元気を応援します！ 出会い・結婚・子育て、健康・福祉など	① 【出会い・結婚】 出会いイベントの開催に対する支援による交流、出会いの場づくりや、結婚に伴う住居取得への支援などを通じ、地域全体で応援する環境づくりを進めています。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	② 【子育て】 全年齢層の保育料無償化など、保育サービスの充実や放課後児童クラブの設置、高校生までの医療費助成など、安心して子育てできる環境づくりを進めています。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	③ 【保健・医療】 特定健診・がん検診の受診促進や地域医療体制の充実、予防接種の推進など、よりよい保健・医療体制づくりを進めています。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	④ 【社会福祉】 母子福祉、父子福祉、障がい者福祉、高齢者福祉など、安心して暮らせる社会福祉の充実に努めています。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	⑤ 【社会保障】 国民健康保険、生活保護制度など、市民の皆さまの生活を守る社会保障の充実に努めています。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	⑥ 【スポーツ】 500歳野球大会の開催、スポーツ少年団への支援、スポーツ施設の充実など、生涯スポーツの推進、スポーツによる地域の活性化に取り組んでいます。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

大仙市の現状・取組状況

【令和6年4月1日現在】

出会い・結婚・子育てに関する市民満足度	H27 3.10 → R5 3.18
不妊治療による出産数	H27～R4の累計 163件
子育てサポート会員登録者数	H27 81人 → R5 78人
放課後児童クラブ実施箇所数	H27 21箇所 → R5 36箇所
特定健康診査受診率	H27 39.1% → R4 41.9%
介護予防いきいき隊養成者累計数	H27 106人 → R5 202人
全国500歳野球大会参加チーム数	R5 32チーム
スポーツ合宿実施団体数	H27 15団体 → R5 18団体

満足度と重要度 設問項目		満足度					重要度				
		5 満足	4 まあ満足	3 どちらとも	2 やや不満	1 不満	5 重要	4 やや重要	3 どちらとも	2 あまり重要ではない	1 重要ではない
Ⅲ 住みよ いまち を築き ます！ 安全・安心・都市整備など	①	【自然・衛生環境】 豊かな自然の保護や環境に優しいまちづくり、ごみの減量化、公害防止など、自然環境の保全と衛生環境の整備に努めています。									
	②	【安全・安心体制】 消防・防災体制や雪対策の強化、交通安全の推進、防犯体制の強化など、安全・安心なまちづくりに取り組んでいます。									
	③	【空き家対策】 所有者への助言や指導、解体補助、空き家バンクによる移住希望者への情報提供など、空き家の適正管理と活用促進に努めています。									
	④	【公共交通】 地域の実情に応じて循環バスや市民バス、コミュニティバス、乗合タクシーを運行するなど、公共交通の維持確保に努めています。									
	⑤	【地域情報化】 地上デジタル放送難視聴地域の解消やインターネット環境の整備、FMはなびによる防災・災害情報発信などに取り組んでいます。									
	⑥	【市街地】 利便性が高く機能的な都市づくりや無秩序な市街地の拡散抑制、中心市街地の活性化などに取り組んでいます。									
	⑦	【道路・河川】 幹線・生活道路の整備、迅速な道路修繕、橋りょうの長寿命化、国県河川の早期整備要望、内水対策などに取り組んでいます。									
	⑧	【上・下水道】 施設設備の計画的な更新や、適正な維持管理など、生活の基盤となる上・下水道事業の安定した運営に努めています。									
	⑨	【住環境】 住宅リフォームへの支援、市営住宅や公園・緑地の維持管理など、良好で快適な住生活環境づくりに努めています。									

大仙市の現状・取組状況

【令和6年4月1日現在】

自主防災組織の組織率

H26 67.5% → R5 91.6%

地域公共交通運行状況

地域の実情に合わせて6システム 51路線を運行

R5利用実績 循環バス 15,321人 コミュニティバス 34,010人 乗合タクシー 11,260人

市ホームページ閲覧数

H26 64万9千人 → R4 299万1千人

都市計画道路整備率

H26 59.8% → R5 62.0%

住宅リフォーム支援制度利用件数

H28～R5の累計 3,208件

満足度と重要度 設問項目		満足度					重要度				
		5 満足	4 まあ満足	3 どちらとも	2 やや不満	1 不満	5 重要	4 やや重要	3 どちらとも	2 あまり重要ではない	1 重要ではない
IV 豊かな心と想像力を育みます！ 教育、生涯学習、芸術・文化など	①	【学校教育】 キャリア教育の推進、英語教育の充実、地域との交流による多様な学びなど、地域一体となって社会で活躍できる子どもを育む取組を進めています。					5	4	3	2	1
	②	【生涯学習】 ライフステージにあわせた学習活動の提供、生涯学習施設の整備など、生涯を通じて学び、活かせる環境づくりを進めています。また、図書館運営の充実などにより、読書活動の促進に取り組んでいます。					5	4	3	2	1
	③	【芸術・文化】 芸術鑑賞機会の創出や音楽祭の開催、文化財を活用したイベントなど、芸術・文化を通じた潤いのあるまちづくりを進めています。					5	4	3	2	1
	④	【地域間・国際交流】 宮崎県宮崎市、神奈川県座間市、岩手県宮古市、韓国唐津市との間で多様な交流を行っています。					5	4	3	2	1

大仙市の現状・取組状況

【令和6年4月1日現在】

学校生活支援員の配置数	H27 56人 → R4 62人
ALT・CIRの配置数※1	H27 8人 → R4 12人
学校のトイレ改修率（洋式化）	H27 73.0% → R4 89.7%
異校種間連携実施率※2	H27 90.6% → R4 100.0%
生涯学習事業への参加延べ人数※3	H27 116,772人 → R4 65,630人
芸術文化協会の団体数	H27 245団体 → R5 177団体
国内友好交流都市との交流	H27 8回 → R5 14回
国内外交流自治体数	R5現在 4団体（座間市、宮崎市、宮古市、韓国唐津市）

※1 ALT／外国語指導助手 CIR／国際交流員

※2 異校種間連携／幼保・小中学校・高校・支援学校・大学など異校間の交流。

※3 コロナ禍の影響による事業中止のため減少。

満足度と重要度 設問項目		満足度					重要度				
		5 満足	4 まあ満足	3 いどちらとも	2 やや不満	1 不満	5 重要	4 やや重要	3 いどちらとも	2 ではあまり重要	1 重要ではない
V 時代 に 合 っ た 地 域 社 会 の 維 持 ・ 活 性 化 、 行 政 運 営 な ど	①	【地域活性化】 地域協議会の活動や地域枠予算の確保、自治会活動への支援など、住民主体の地域づくりを応援しています。									
	②	【移住・定住】 移住コーディネーターの配置、無料職業紹介所の設置など、移住やAターンの促進と定住に向けた環境づくりを進めています。									
	③	【市民協働】 ボランティアやNPOなどの市民主体の活動に対する支援や、ふるさと納税制度を通じた大仙ファンの創出など、協働のまちづくりを進めています。									
	④	【男女共同参画】 男女共同参画や女性活躍の推進に関する講座の開催など、性別にかかわらず、誰もが活躍できる社会づくりを進めています。									
	⑤	【行財政運営】 財政健全化や組織機構改革、人口規模に見合った公共施設の配置適正化、行政サービスのデジタル化など、効率的かつ効果的で持続可能な行財政運営に努めています。									

大仙市の現状・取組状況

【令和6年4月1日現在】

地域枠予算（市民主導型）活用数	H27 73件 → R5 93件
地域おこし協力隊員数	H27～R5の累計 10人
本市への移住者数※1	R2～R5の累計 1,538人
本市への移住相談件数	H28 42件 → R5 150件
市職員数	H27 992人 → R5 840人
ふるさと納税寄付額	H27 901万3千円 → R5 4億2千9百万円
財政力指数※2	H27 0.342 → R5 0.345
将来負担比率※3	H27 136.9% → R4 85.7%
全会計市債現在高	H27 991億7千5百万円 → R4 788億3千4百万円

※1 R2年度から移住者の定義を見直し。

移住者：大仙市への転入者の内、転入後5年以上大仙市に居住する意思のある定住希望者

※2 財政力指数／地方公共団体の財政力を示すもの。数値が高いほど財政力が強いことを示す。

※3 将来負担比率／市が将来負担を予定する負債の大きさを示すもの。400%超で早期健全化団体に該当。

2 今後、さらに推進すべき取組について

問1

あなたが「産業分野」で、さらに推進すべきであるとする取組はどれですか。
あてはまる番号に○をつけてください。(○はいくつでも)

- | | |
|-------------------|----------------|
| 1. 農業の担い手確保、育成 | 2. 農業生産基盤の整備 |
| 3. 稲作・畑作等複合経営 | 4. 農産物の6次産業化 |
| 5. 畜産業、林業、水産業の振興 | 6. 地域商業の活性化 |
| 7. 企業誘致の強化 | 8. 中小企業の振興 |
| 9. 若者の起業促進 | 10. 花火産業の振興 |
| 11. 特産品の振興 | 12. 魅力ある観光地づくり |
| 13. 雇用の安定と就労環境の充実 | 14. 外国人を含む観光誘客 |
| 15. その他() | |

問2

あなたが「出会い・結婚・子育て分野」で、さらに推進すべきであるとする取組はどれですか。
あてはまる番号に○をつけてください。(○はいくつでも)

- | | |
|----------------------|-----------------------|
| 1. 結婚を応援する環境づくり | 2. 結婚相談会・出会いイベントの充実 |
| 3. 結婚に関わる経済的負担の軽減 | 4. 妊娠、出産、育児を応援する環境づくり |
| 5. 健診や相談等の母子保健事業の充実 | 6. 妊娠中から切れ目のない子育て支援 |
| 7. 保育ニーズに対応した受入体制の整備 | 8. 夜間・休日保育の充実 |
| 9. 子育てに関わる経済的負担の軽減 | 10. 放課後児童クラブ・子供教室の充実 |
| 11. 虐待防止対策の強化 | 12. ワーク・ライフ・バランスの実現 |
| 13. その他() | |

問3

あなたが「健康福祉・スポーツ分野」で、さらに推進すべきであるとする取組はどれですか。
あてはまる番号に○をつけてください。(○はいくつでも)

- | | |
|---------------------|-------------------|
| 1. からだの健康づくり | 2. こころの健康づくり |
| 3. 地域医療体制の充実・強化 | 4. 病気予防体制の充実 |
| 5. 地域住民による支え合い体制の構築 | 6. ひとり親家庭への福祉の充実 |
| 7. 地域包括ケアの充実 | 8. 生活支援サービスの充実 |
| 9. 介護サービス基盤等の強化 | 10. 障がい者福祉サービスの充実 |
| 11. 社会保障制度の周知 | 12. 生活保護制度の適正な運用 |
| 13. スポーツ活動の活性化 | 14. スポーツ環境の充実 |
| 15. その他() | |

問4

あなたが「**環境・安全分野**」で、さらに推進すべきであるとする取組はどれですか。
 あてはまる番号に○をつけてください。(○はいくつでも)

- | | |
|---------------------|--------------------|
| 1. 自然環境の保全 | 2. 再生可能エネルギーの導入 |
| 3. 交通安全、防犯体制の強化 | 4. 交通弱者への福祉施策 |
| 5. 消費者トラブル対策 | 6. 消防団員の確保と活動の活発化 |
| 7. 地域防災体制の整備・強化 | 8. 水害対策設備の充実 |
| 9. 除排雪体制の充実 | 10. 消融雪設備の充実 |
| 11. 空き家の適正管理と利活用 | 12. 廃棄物の排出抑制・適正処理 |
| 13. 河川とその周辺環境の保全・整備 | 14. 公園・緑地の整備、緑化の取組 |
| 15. その他() | |

問5

あなたが「**都市基盤分野**」で、さらに推進すべきであるとする取組はどれですか。
 あてはまる番号に○をつけてください。(○はいくつでも)

- | | |
|--------------------------|-------------------|
| 1. 主要道路網・幹線道路の整備 | 2. 生活道路の整備 |
| 3. 道路・橋りょうの適正な維持管理 | 4. 駅舎、駐車場の整備・維持管理 |
| 5. 地域や生活の実情に即した公共交通の整備 | 6. 計画的な市街地整備 |
| 7. 人口減少社会に対応した機能集約型まちづくり | |
| 8. 住生活環境の充実 | 9. 住宅の耐震化率向上 |
| 10. 情報基盤の整備による地域情報化 | 11. 安全で安定した水道水の供給 |
| 12. 下水道施設の適正管理と更新 | 13. 下水道未普及地区の解消 |
| 14. その他() | |

問6

あなたが「**教育・交流分野**」で、さらに推進すべきであるとする取組はどれですか。
 あてはまる番号に○をつけてください。(○はいくつでも)

- | | |
|-----------------------|-------------------|
| 1. 生きる力を育む学校教育 | 2. 学校と地域の交流・連携 |
| 3. 児童・生徒数にあわせた学校施設の整備 | 4. 家庭教育の充実 |
| 5. 地域と連携したふるさと教育 | 6. 特別支援教育の充実 |
| 7. デジタルを活用した学習環境の充実 | 8. 生涯学習の機会拡大・情報発信 |
| 9. 芸術、文化活動の振興 | 10. 文化財の保全と活用 |
| 11. 非核平和の啓発 | 12. 他自治体との連携・交流 |
| 13. 国際交流の促進 | |
| 14. その他() | |

問7

あなたが「地域活性化・市民との協働・行財政運営分野」で、さらに推進すべきであると考え
取組はどれですか。あてはまる番号に○をつけてください。(○はいくつでも)

- | | |
|------------------------|----------------------|
| 1. 地域資源の掘り起こしと活用 | 2. 地域活動の情報発信 |
| 3. 行政への市民参加機会の拡大 | 4. 自治組織づくり、自治会活動の促進 |
| 5. 地域主体の課題解決や活性化の促進 | 6. 小規模集落・高齢化集落への支援 |
| 7. 移住・定住の促進 | 8. 若者が活躍できる環境づくり |
| 9. 男女共同参画社会の形成 | 10. 事務組織の見直しと職員資質の向上 |
| 11. 行政情報の提供や公開の充実 | 12. 各種行政手続きのデジタル化 |
| 13. 利用状況等にあわせた公共施設の見直し | 14. 公文書の保存・公開 |
| 15. その他() | |

3 市の情報発信や行政サービスのデジタル化について

市では「行かなくても済む『市役所』」を目指し、情報発信や行政サービスのデジタル化を進めています。これまで、各種証明書の申請手続きのオンライン化やコンビニ交付サービス、発行手数料のキャッシュレス化などを進めてきたところであり、今年度は書類の記入が最小限の簡単な窓口システムやLINEによる手続きを可能とする機能の導入を予定しています。

人口減少が進行する中であっても、持続可能で質の高い行政サービスを提供し続けていくためには、あらゆる場面におけるデジタル化が急務となっています。デジタルに不慣れな方のサポートや対面による窓口サービスの充実に努めながら、「誰一人取り残されない人にやさしいデジタル化」を推進するにあたり、市民の皆さまのご意見をお伺いします。

問1

市では様々な方法で市政情報を発信していますが、あなたがその情報を入手するため、主に利用している手段は何ですか。あてはまる番号に○をつけてください。(○は2つまで)

- | | |
|---------------------------|-------------------------|
| 1. 市広報「だいせん日和」 | 2. コミュニティFM「FMはなび」(ラジオ) |
| 3. 市公式SNS(LINE、Facebook等) | 4. 市ホームページ |
| 5. 市役所の窓口(支所等を含む) | 6. 家族や知人からの口コミ |
| 7. その他() | |

問2

あなたにとって問1の情報入手手段は利用しやすいと思いますか。(情報入手のしやすさ)
あてはまる番号に○をつけてください。(○は1つ)

- | | | |
|--------------|-------------|--------------|
| 1. そう思う | 2. ある程度そう思う | 3. どちらとも言えない |
| 4. あまりそう思わない | 5. そう思わない | |

問3

あなたにとって市のサービスは利用しやすいと思いますか。
あてはまる番号に○をつけてください。(○は1つ)

- | | | |
|--------------|-------------|--------------|
| 1. そう思う | 2. ある程度そう思う | 3. どちらとも言えない |
| 4. あまりそう思わない | 5. そう思わない | |

問4

あなたは、今後行政サービスのデジタル化が進むことで、市が行っているサービスがどのように良くなることを期待しますか。あてはまる番号に○をつけてください。(○は3つまで)

1. 市役所に行かなくてもオンラインで手続きができる
2. 各種相談をオンライン(メールやウェブ相談など)で行うことができる
3. 市役所窓口での申請などが簡単で分かりやすくなる
4. 自分に必要な市の情報がアプリやメールなどで入手できる
5. 市が保有するデータ(人口や各種調査結果など)をウェブ上で入手・利用できる
6. 災害発生時の緊急情報などを迅速かつ正確に入手できる
7. その他()

4 あなたが思う大仙市について

問1

あなたが現在大仙市に住んでいる経緯はどれですか。
あてはまる番号に○をつけてください。(○は1つ)

1. 生まれてからずっと住んでいる
2. 市外に住んだことがあり、家族、仕事などの理由で引っ越して来た
3. 市外に住んだことがあり、自分の意志で引っ越して来た

問2

大仙市は、住みやすいまちだと思いますか。
あなたの考えに一番近い番号に○をつけてください。(○は1つ)

- | | |
|------------------|------------------|
| 1. 住みやすい | 2. どちらかといえば住みやすい |
| 3. どちらかといえば住みにくい | 4. 住みにくい |

問3

これからも大仙市に住み続けたいと思いますか。
あなたの考えに一番近い番号に○をつけてください。(○は1つ)

- | | |
|----------------|---------------------|
| 1. 今の場所に住み続けたい | 2. 市内の別の場所へ移りたい |
| 3. 市外に移りたい | 4. 住み続けたいが、移らざるを得ない |

次のページからは、市が行っている個別の事務事業に対して、市民の皆さまから評価・意見等をお伺いするアンケート調査です。

ご自身に直接関係がないと思われる設問もあるかもしれませんが、市民の皆さまのご意見を幅広く伺い、今後の事業の参考とさせていただきますので、可能な限りすべての設問にお答えいただきますようご協力をお願いいたします。

テーマ1 若者チャレンジ応援プロジェクトについて

市では、チャレンジする若者を総合的にサポートするため、「若者チャレンジ応援プロジェクト」を展開しており、起業や経営をはじめとする様々な相談に対応する窓口として「だいせんLabo」を設置したほか、若者チャレンジ応援補助金による支援や、高校生や大学生などを対象にしたイベントの開催など、若者がチャレンジできる環境づくりを推進しています。

この調査では、「だいせんLabo」をはじめ、これまでの取組に関するご意見を伺い、今後の取組の参考とさせていただきます。

問1

相談窓口である「だいせんLabo」を知っていますか。
あてはまる番号に○をつけてください。(○は1つ)

- | | |
|----------|-------------|
| 1. 知っている | 2. 名称は知っている |
| 3. 知らない | |

問2

問1で「1. 2. を選択された」方にお聞きします。
「だいせんLabo」の情報を何で知りましたか。
あてはまる番号に○をつけてください。(○は3つまで)

- | | |
|-------------------|-------------------|
| 1. 新聞 | 2. テレビ |
| 3. FMはなび | 4. 市ホームページ |
| 5. 市広報「だいせん日和」 | 6. SNS(インスタグラムなど) |
| 7. チラシ・パンフレット | 8. 市関連窓口 |
| 9. 金融機関・商工団体などの窓口 | 10. 友人・知人 |
| 11. その他() | |

問3

若者の相談窓口である「だいせんLabo」に期待するサポートや、充実してほしい取組は何ですか。
あてはまる番号に○をつけてください。(○は3つまで)

1. 起業や経営などのサポート
2. 地域の課題解決や活性化につながるサポート
3. 様々な補助金などの情報提供
4. 事業計画・資金調達のサポート
5. 経営に係る専門家等の紹介
6. 金融機関・商工団体・事業者等とのマッチング支援
7. その他()

問4

若者がチャレンジしやすい環境づくりをより一層推進するためには、どのような取組が必要ですか。
あてはまる番号に○をつけてください。(○は3つまで)

1. 若者の挑戦を応援する補助制度
2. 若者の意見や考えを聞く場・機会の創出(オンライン上も含む)
3. 若者や女性の活躍につながる交流会の開催
4. 起業家・起業希望者の交流会の開催
5. 若者の挑戦を応援する機運を高めるセミナーの開催
6. 高校生・大学生等が活躍できるための支援制度
7. 若者・女性活躍のためのコミュニティ形成に向けたサポート
8. 若者が楽しめるイベント等の開催
9. 若者が集まる拠点づくり
10. その他(

問5

今後、あなたが、起業やイベントの企画、地域課題解決の取組等を検討することになった場合、「だいせんLabo」を利用しようと思いますか。
あてはまる番号に○をし、その理由もお答えください。(○は1つ)

- | | |
|-------------------|----------------|
| 1. ぜひ利用しようと思う | 2. 利用しようと思う |
| 3. あまり利用しようとは思わない | 4. 利用しようとは思わない |

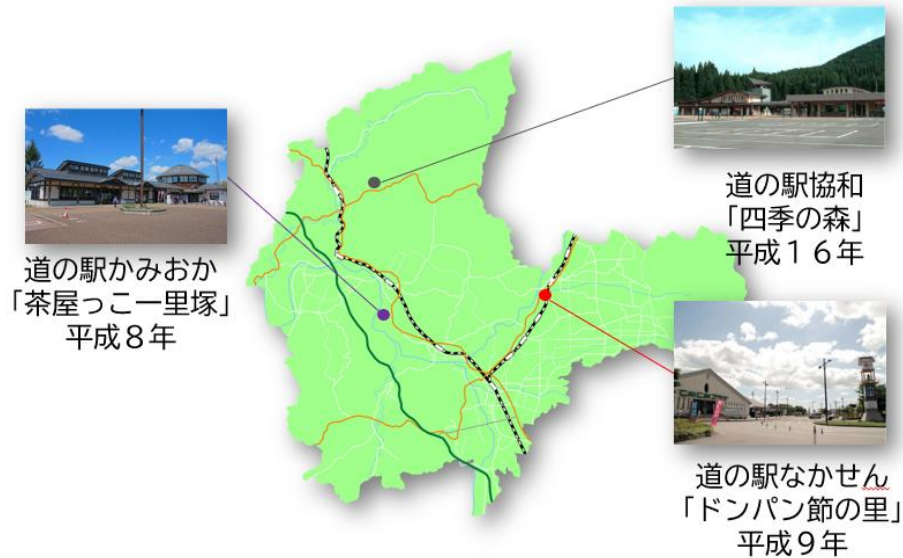
【理由】

テーマ2 市内道の駅（協和・かみおか・なかせん）について

市では、観光や防災機能、農業振興など地域振興の拠点を担う道の駅を市内に3つ設置しています。

この調査は、市民の皆さまをはじめ、道の駅を訪れる方々の利便性向上や、拠点としての魅力を高めるなどの取組を検討するための参考とさせていただくものです。

大仙市道の駅位置図



問1

市内の道の駅を利用したことがありますか。
あてはまる番号に○をつけてください。(複数回答可)

1. 道の駅協和
2. 道の駅かみおか
3. 道の駅なかせん
4. 利用したことがない → 問3へ

問2

問1で「1. 2. 3. を選択された」方にお聞きします。
利用した時の目的は何でしたか。
あてはまる番号に○をつけてください。(複数回答可)

- | | | |
|--------------|--------|---|
| 1. 休憩 | 2. トイレ | |
| 3. 食事 | 4. 買い物 | |
| 5. イベント(具体的に | |) |
| 6. その他(| |) |

問3

問1で「4. 利用したことがないを選択された」方にお聞きます。
利用したことがない理由は何ですか。
あてはまる番号に○をつけてください。(複数回答可)

1. 駐車場が狭い(どこの道の駅か教えてください)
2. 売店で買いたいものがない(同上)
3. 道の駅の場所が分からない(同上)
4. その他()

問4

道の駅で充実してほしいサービスや機能などについて
あてはまる番号に○をつけてください。(複数回答可)

- | | |
|-----------------------|----------------------------|
| 1. お土産などの売店エリア | 2. 野菜などの直売エリア |
| 3. 駐車場 | 4. トイレ |
| 5. 休憩スペース | 6. 子育て関連施設(ベビーコーナー、遊具の設置等) |
| 7. バリアフリー化 | 8. EV充電スポット |
| 9. ドックランエリア | 10. キッチンカー |
| 11. 防災拠点施設 | 12. 多言語の案内看板 |
| 13. コミュニティスペース(集える場所) | 14. レストランやフードコート |
| 15. その他 () | |

問5

よく利用する市外の道の駅、または訪れてみたい道の駅があれば教えてください。(自由記載)

テーマ3 市内スキー場（大曲ファミリー、協和、大台）について

市では、市民の皆さまの健康増進や観光、スポーツの振興を図りながら市外からの交流人口拡大を図るため、市内に3つのスキー場を設置しています。

この調査では、市民の皆さまの市内スキー場に対するご意見を伺い、今後の運営改善や将来的なあり方などを検討していくための参考とさせていただきます。



問1

よく利用する市内のスキー場はどこですか。
あてはまる番号に○をつけてください。(○は1つ)

1. 大曲ファミリースキー場
2. 協和スキー場
3. 大台スキー場
4. ほとんど利用したことがない、利用したことがない →問4へ

問2

問1で「1. 2. 3. を選択された」方にお聞きします。
シーズン中にどのくらい利用しますか。
あてはまる番号に○をつけてください。(○は1つ)

1. 週に1回
2. 週に数回
3. 月に1回
4. シーズン中に1回

問3

問1で「**1. 2. 3. を選択された**」方にお聞きます。
今後も利用したい市内のスキー場はどこですか。
あてはまる番号に○をつけてください。(○は1つ)

1. 大曲ファミリースキー場
2. 協和スキー場
3. 大台スキー場

問4

問1で「**4. 行かなかったを選択された**」方にお聞きます。
市内スキー場に行かなかった理由は何ですか。
あてはまる番号に○をつけてください。(○は1つ)

- | | |
|------------------|---------------|
| 1. 興味がない | 2. 体力・技術面の不安 |
| 3. 家事や育児・仕事等で忙しい | 4. 一緒に行く人がいない |
| 5. 費用がかかる | |
| 6. その他() | |

問5

今後、市内のスキー場に取り組んでほしいことは何ですか。
あてはまる番号に○をつけてください。(○は1つ)

- | | |
|--------------------|-------------|
| 1. コースの充実 | 2. レストランの充実 |
| 3. イベントの充実 | 4. リフト料金の割引 |
| 5. 市内スキー場共通リフト券の発行 | |
| 6. その他() | |